

know how 6 ◆ 服の捨て時が分かりません

何を選ぶか?も非常に重要なのですが、それと同じくらい大切なのが何を捨てるか?が理想のクローゼットを作る上で非常に大切です。 と言うのはビジネスマンとして働く時間が経てば経つほど服の数がどんどん増えてくるからなのです。自分で買ったものもあれば、他人からプレゼントされたものもある、古い物もあれば新しい物もある中で、何を残し、何を捨てるかを見極める。枯れ木も山のにぎわいと言うコトバもありますが、こと経営者の服に関して言えばその概念は当てはまりません。有っても無くてもいいくらいのは思い切って捨ててしましましょう。先程も書きましたが経営者にとっては毎日が「ここぞと言った場面」自己概念を下げる服は経営者には全く必要ありません。どの服を捨てるのか?はこの順番で考えてください。



1. サイズの合っていない服

サイズの合っていない服を着るほどだらしなく見え、信頼感を欠くものではありません。サイズが合わなくなる要因は2つあります。1つ目は太ってしまっただけで入らなくなる。2つ目は肉体改造身体などで小さくなって服のサイズが全く合わなくなる場合です。太って入らなくなる場合、多くの方は服のサイズを大きく調整しようと考えられるのですが、私はこの方法は反対です。服のサイズを大きくしてしまうと殆どの場合はそのサイズ通りかそれ以上に身体が大きくなってしまふものなのです。大きめの服はちょっとした体型の変化にはなかなか気付くことが出来ません、多少食べ過ぎたとしても元々服が大きいので食べ過ぎに気がつかないのです。しかし **ジャストサイズの服は違います、少し食べ過ぎるとウエストの部分がきつくなり食べ過ぎないようにサインを送ってくれます。ジャストサイズの服を着ることは体型維持がしやすくなるという大きなメリットがあるのです。服のサイズを大きくする前にまず自分の身体を引き締めることを優先させて下さい、2.3キロ増であれば少し意識すれば元に戻せるはず。** どうしてもサイズを直したい場合は、縫い代がある範囲内であればサイズ調整は可能です。目安を言えばウエストで5センチくらい、体重が1キロ増えるとウエストサイズは1センチ増えますので、体重の5キロ増位までならお直しをすることは可能です。

そして2つ目の身体が引き締まってしまって服が大きくなる場合です。理論的に言えばサイズを小さくするのはいくらでも可能です。でも服は出来上がった時のサイズでポケットの位置やジャケットの長さなど全ての配置が最も美しくなる様に計算をされています。その配置を無視してサイズだけを小さくすると色々な所で不都合が生じてしまい服としてのバランスが崩れてしまいます。リフォームしてキレイに直るのは体重で10キロ以内の減量と覚えておいて下さい。10キロ以上減量した場合服はキレイに直りません。その服はすぐに譲るか捨てるようにして下さい!

2. それなりの金額を出して買ったので捨てるに捨てられない服

これは「一張羅」と思って買う服の場合に多いパターンです。ここぞと言う場面を着よう! そう思って買ったにも拘らず、そのここぞと言った場面はなかなか来ることがなく、時間だけが過ぎ去り、どんどん服が古臭くなり時代と合わなくなっていき、服としての賞味期限が終わってしまっている、そんな服です。誰も一着は持っているのではないのでしょうか?私にもあります。この服を持っている人の気持ちは「いつか又この服のトレンドが来て着る時期がくるかもしれない」なのですが、残念ながら着ることの出来る時期は来ません。トレンドが復活することは確かにあります、でも以前に流行した時とそのトレンドが復活する時とは服のシルエットやディテールが全く違います、イマドキのシルエットを纏ったトレンドですので全くの別物です。スーツの場合で言えば襟の角度や太さによってどの時代に作られた服なのかは一目瞭然です。レディースの世界ほどメンズのトレンドは早くはないのですが、それでも5年くらいを一つの区切りとしてトレンドは変化をしています。 **私自身はトレンドを追うことはオススメしません。ファッションブルにすることで仕事面ではマイナスになることが沢山あるからです。でもあまりに昔っぽい服を着ることも仕事面では変化を嫌う頭の固い人や時代が読めていない人というイメージを与えマイナスになります。トレンドは追うのではなく適度に取り入れることをオススメします。** それなりの金額を出して買ったので捨てるに捨てられない服は思い切って捨ててしましましょう! 若しくはどうしても捨てられない場合はリメイクと言う方法があります。サイズを直すのをリフォームといいますが、サイズだけでなくコートジャケットに変えたりアイテムごと変えてしまうのをリメイクと言います。ただこれにはかなりのセンスが必要なのでそれなりにお金がかかりますので実行するに当たっては十分な注意が必要です。そこまでお金を掛けられない場合は先程も書いたようにヤフーオークションや楽天オークションに出品するか、リサイクルショップに出してみてください。もしかしたらマニアの方の目にとまって高値で売れるかもしれません。



3. 一年以上着ていない服

1年以上着ていない服には必ず何かしらの理由があるはずですが、サイズが合っていない、それなりの金額を出して買ったけど捨てるに捨てられない、何か着る気がしない、着てもテンションが上がらない、などなど色々な理由がありますが、1年以上着ていない服はそのままにしておいても着る機会はありません。まずは1年以上着ていない理由を考えてみてください。 その原因がサイズの場合は 1) のサイズが合っていない服を参照してみてください。原因が捨てるに捨てられない服の場合は 2) それなりの金額を出して買ったので捨てるに捨てられない服を参照してみてください。その他の原因の場合、例えば何か着る気がしないとか着てもテンションが上がらないからなどの理由の場合はすぐに捨てるようにしまししょう。 **経営者にとって服とは「なりきりスイッチ」を押してくれる大切なビジネスパートナーなので、着てもテンションが上がらない服はもう既にその役割を終えているのです。そういった服は思い切って捨てることで新しい出会いが有ったり、又何かを手に入れることが出来るのです。自分の周りを自分が心から気に入っている物だけにする、それだけで気分が変わりますので運気は確実にあがります。金運は美しい所にしか来ないのです。** ある程度の年齢になればそれなりの服は持っています。でも数は有るけど「着る服がない」と嘆いている方も実は結構多いのです。それは買い方にも問題が有るのですが、それ以上に問題が有るのが実は「捨てる方」です。特に男性のビジネスの装いの場合はさほど数は必要ではありません。纏った瞬間にテンションが上がって仕事スイッチが入る、そんな理想の服が必要分揃えていることが大切です。